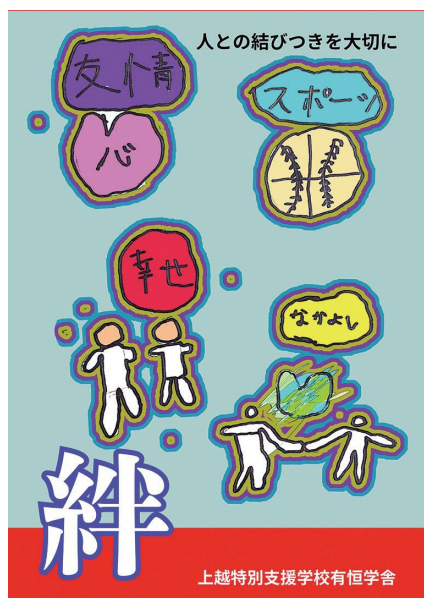


いじめ見逃しゼロ

新潟県内の特別支援学校では、
標語・ポスターコンクールを通して、
「いじめ見逃しゼロ」「絆づくり」
「ネットいじめ防止」に取り組んでいます。

会長賞
3点

ポスターの部



「絆」
新潟県立上越特別支援学校 有恒学舎 高等部1年 清水 智仁



「オリジナルなかまTシャツ」

長岡市立総合支援学校 Aコース



「かがやけえがお やさしいことばのピース」

新潟県立高田特別支援学校 中学部1年共同作品

会長賞
3点

標語の部

いじめはね 人のココロを きずつける だからやめよう ぼくはしません

新潟県立東新潟特別支援学校 小学部5年 平原 友春

いじめる権利、いじめられる権利は、誰にもない

新潟県立新潟よつば学園 中学部ろう教育部門1年 山崎 勝仁

そのことば だいじょうぶ？ やさしいことばで つながろう

長岡市立高等総合支援学校 高等部3年 夏目 惇平

新潟県特別支援学校「いじめ見逃しゼロ」標語・ポスターコンクール

新潟県特別支援学校長会

特別賞 8点

標語の部

※掲載：学部・学年順

標 語	学 校 名	学部	学年	氏 名
「ふわふわことば」使おうね。 「ちくちくことば」やめようね。	新潟県立新潟よつば学園	小学部ろう 教育部門	3年	石黒 いろは
S T O P ! 今の自分は 大丈夫？	新潟県立柏崎特別支援学校	中学部	1年	近 藤 優 衣
イヤなこと してもされても イヤなきもち	妙高市立総合支援学校	中学部	3年	山 岸 隼 彰
あなたの叫び 見逃しません 受け止めます	新潟県立東新潟特別支援学校	高等部	2年	今 井 響
みんなで持とう！ いじめを許さない心と人に寄り添う心	新潟県立柏崎特別支援学校	高等部	2年	渡 邊 花 梨
心の手 繋いで 優しい思いやり	新潟県立川西高等特別支援学校	高等部	3年	樋 口 七 海
仲間達と助け合い 信頼できる笑顔の輪を作ろう	新潟県立新発田竹俣特別支援学校	高等部	3年	服 部 遥 斗
見てるよ、いじめで人の心を壊さないで	新潟県立五泉特別支援学校村松分校	高等部	3年	3 年 2 組

金 賞 8点

標語の部

標 語	学 校 名	学部	学年	氏 名
なかよくやさしく笑顔でいよう	新潟県立長岡聾学校	小学部	6年	三 五 湊 太
「そうだったんだ」 きいてくれて ありがとう	新潟県立村上特別支援学校	中学部	3年	濱 地 芳 希
「だいじょうぶ？」 ころのきずの特効薬	糸魚川市立ひすいの里総合学校	中学部	3年	中 村 広 翔
ともだちと すてきなきょうりよく えがおのはな	小千谷市立総合支援学校	高等部	1年	川 上 咲 希
あいさつで 心がポカポカ 楽しいよ	南魚沼市立総合支援学校	高等部	1年	樋 口 龍 弥
助けたい！一人の勇気が止めるカギ	新潟県立西蒲高等特別支援学校	高 等 部 職業学級	2年	渡 邊 晃 都
自分から 勇気をもって 相談だ	新潟県立月ヶ岡特別支援学校見附分校	高等部	2年	2 年 A 組
いじめゼロ ひとりの声が まわりを変える	新潟県立江南高等特別支援学校	高等部	3年	高 松 弘 翔

特別賞 3点

ポスターの部

※掲載：学部・学番順



「ともだち」

十日町市立ふれあいの丘支援学校 小学部1～6年共同作品



「いいね!きみのスマイル」

見附市立見附特別支援学校 中学部1～3年共同作品



「はじめをなくそう!みんな仲間だ!」

新潟県立西蒲高等学校特別支援学校 高等部 職業学科2年 山添 京祐



「OSSG、きずなのパワー」

小千谷市立総合支援学校 全校共同作品



「スマイル」

新潟県立新発田竹俣特別支援学校いじみの分校 小学部あやめ4組共同作品



「見えない所に目をこらそう」

新潟県立東新潟特別支援学校 中学部2年 小熊 結太

金賞 6点

ポスターの部



「うれしいことば」

糸魚川市立ひすいの里総合学校 中学部1年共同作品



「みんなちがっていいんだよ。」

新潟県立吉川高等特別支援学校 高等部1年 竹内 一吹



「やさしい ところ」

新潟県立吉田特別支援学校 高等部3年 荻原 佑弥

新潟県特別支援学校「いじめ見逃しゼロ」標語・ポスターコンクール 実施概要

○「いじめ見逃しゼロ」「絆づくり」「ネットいじめ防止」をテーマとした標語・ポスターの募集

(令和7年7月1日～10月20日)

○応募総数 466点 【標語の部】391点 【ポスターの部】75点

○応募校 県内特別支援学校 36校

学校独自の取組 2校

- 1 「いじめ見逃しゼロキャラバン」キャラバン隊「超耕21ガッター」講演
- 2 合言葉づくり:「どんなことがいじめになるか」「みんなが安心して学校生活を送るにはどうしたらよいか」考えながら、それぞれが思う、楽しく安全な学校生活を送るための合言葉を作成し、掲示する。

○審査及び表彰

- ・部門別に、小学部・中学部・高等部ごとに審査
- ・会長賞(最優秀賞)、特別賞(優秀賞)、金賞、銀賞、を選定し、賞状を授与

○優秀作品(会長賞～金賞)を集録したリーフレットを、県内特別支援学校及び小・中学校等へ配付

○優秀作品の巡回展示を、令和8年6月～令和8年11月に県内1会場で実施予定

【講 評】心に蒔かれた希望の種を、未来の大樹へ

県内特別支援学校36校から寄せられた466点もの応募作品を厳正に審査していく中で、私はまるで子供たちの「心の森」に分け入ったような感覚に包まれました。それらは単なる作品ではなく、子供たちの心の奥底にある強い思いと、未来への切なる願いが交わされる「対話の場」そのものでした。

新潟県いじめ防止基本方針には、「いじめは、どの子供にも、どの学校でも、起こりうる」という重い現実が記されています。しかし、目の前に広がる作品は、その現実を見据えた上で、なお輝く「希望の光」を私たちに突きつけてくれました。

まず、私の心を震わせたのは「言葉の力」です。標語の部では、「こころ」「やさしいことば」「笑顔」といった温かなテーマが私を包み込みました。「そのことば だいじょうぶ?」と相手を思いやる問いかけ。「そうだったんだ」という、相手の痛みにもそっと寄り添う受容の言葉。これらの温かい言葉は、まるで冬の日の陽だまりのように、心の凍りついた部分を溶かしてくれます。一方で、「いじめる権利、いじめられる権利は誰にもない」「Stop!」という、凛とした強い意志。これらは、私たち大人に対し、いじめという問題にもっと真剣に、もっと正対すべきだという鋭い警鐘として響き渡りました。



ポスターの部もまた、子供たちの心の風景を鮮烈に映し出していました。画面いっぱいに咲く「笑顔」、固く結ばれた「絆」、色とりどりの「リボン」や「虹」。鮮やかな色彩で描かれた「なかま」との温かい世界は、見る者の心を明るく照らします。しかし、光があるところには影もあります。暗めの色調で描かれた「気づいてあげよう」「見えているのは真実の笑顔か?」という問いかけ。それは、傷ついた心が発する無言の叫びであり、決して見過ごしてはならない真実です。光と影、そのどちらにも、子供たちの「現状を変えたい」という強く尊い思いが込められていました。



そして、共同制作。そこには「調和」のドラマがありました。一人一人異なる色、異なる形が集まり、互いを認め合いながら一つの新しい美を生み出す。その楽しげな姿は、「みんなが力を合わせれば、未来は必ずより良いものになる」という力強いメッセージとして、私の胸に迫りました。

今回のコンクールを通じ、私は改めて確信しました。子供たちの作品は、単なるポスターや標語ではありません。それは、未来を照らす「希望の光」そのものです。この光を絶やすことなく受け止め、子供たちの未来が曇りのない笑顔で溢れるよう、私たちもまた、覚悟を新たに全力で応援していくことをここにお約束します。

最後になりますが、本コンクールの開催にご尽力いただいた先生方、関係者の皆様、そして何より、勇気を持って心の声を形にしてくれた児童生徒の皆さんに、心からの敬意と感謝を捧げます。



皆さんの作品は、私たちの心に「希望の種」を蒔いてくれました。今度はその種を大切に育て、共に「未来」という名の大輪の花を咲かせていきましょう。

新潟県特別支援学校長会
会長 山田 澄人